



発信年月日：令和2年10月2日

所属部課	課長	担当職氏名	連絡先 TEL 0837-23-1234
経済観光部 産業戦略課	伊藤 和久	松岡 裕史	
件名	温泉街再生プロジェクトがグッドデザイン賞を受賞		

長門湯本温泉では、長門湯本温泉観光まちづくり計画に基づき、温泉街の再生・リノベーションが進行しています。

このたび、公民連携により市・地域・事業者が一体となった先進的な取組が評価され、2020年度グッドデザイン賞を受賞しました。

1 受賞概要

受賞対象：長門湯本温泉観光まちづくりプロジェクト

受賞代表者：長門湯本温泉観光まちづくり推進会議 委員長 江原 達也
長門湯本温泉観光まちづくりデザイン会議 司令塔 泉 英明

事業主体：長門市、株式会社星野リゾート、長門湯守株式会社
長門湯本温泉まち株式会社

分類：17-03 街区・地域開発

評価ポイント：衰退した温泉地の再生プロジェクト。事業者が公共空間を含むマスタープランを提案し、公民が連携して総合的なデザインに落とし込んでいることや、主に都市的な環境で用いられてきたデザインレビューや社会実験を取り入れていることなど、新たな挑戦をしており、それが質の高い空間に結実している。再生を目指す各地の温泉地で、大型宿泊施設の囲い込みから施設を巡る形式へと移行する動きがあるが、ここではさらにその先の、エリアそのものの豊かな体験へと向かおうとしている。観光だけでなく住み働く地域としての魅力も高める方法は、持続可能な観光のひとつのヒントではないだろうか。

※受賞概要の詳細はグッドデザイン賞HP (<http://www.g-mark.org/>) を参照

2 主催

公益財団法人日本デザイン振興会（会長：川上元美、所在地：東京都港区）

3 市長コメント

このたびは、グッドデザイン賞を受賞できましたこと、とても嬉しく思います。

今回の受賞は、これまで、地域住民をはじめ、民間事業者と行政との公民連携により、外部専門家の知見も取り入れ進めてきた先進的な取組が評価されたものです。

また、地域の方々の多大なるご尽力に対する感謝と事業者の果敢なチャレンジへの敬意を申し上げます。

コロナ禍により観光産業は大変困難な状況にありますが、引き続き、地域の皆様と民間事業者、行政が一体となって、全国温泉地ランキングトップ10入りを目指し、より良い観光まちづくりを進めてまいります。

4 グッドデザイン賞とは（HPより引用）

グッドデザイン賞は、デザインによって暮らしや社会をよりよくしていくための活動です。1957年の開始以来、シンボルマークの「Gマーク」とともに広く親しまれてきました。グッドデザイン賞は、製品、建築、ソフトウェア、システム、サービスなど、私たちを取りまくさまざまなものごとに贈られ、かたちのある無しに関わらず、人が何らかの理想や目的を果たすために築いたものごとをデザインととらえ、その質を評価・顕彰しています。毎年4月の応募から、「一次審査」「二次審査」を経て、その年の「グッドデザイン賞」を決定します。10月上旬に「受賞発表」、さらにベスト100に選出されたデザインから「ベスト100プレゼンテーション・金賞審査会」を経て、「金賞・ファイナリスト」が決定します。10月下旬にその年のすべての受賞デザインを展示紹介する「受賞展」が開催され、「受賞祝賀会」で「大賞」を決定します。

2020年度グッドデザイン賞受賞結果（カッコ内：対前年比）

受賞件数 : 1,395件 (-25件)

受賞企業数 : 974社 (+34社)

審査対象数 : 4,769件 (-3件)